



サルビアレター



一人ひとりが輝くまち、燕市を目指して

Vol.1

2021年6月発行
燕市企画財政部地域振興課



女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ

6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。今年度のキャッチフレーズは「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ」。

これは、内閣府が「いま」を生きるユース世代（15～20歳）を対象に、仲間と共に創り上げていく「これから」の未来をイメージしたキャッチフレーズを募集した中での最優秀作品です。

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、一人ひとりの取り組みが必要です。

私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか？

料理は女性の役割？

～市民意識調査から～

「新しい生活様式」で、外食を控え、家での食事の機会が増えた人も多いのではないのでしょうか？

家族で食卓を囲むことで、食を通じたコミュニケーションが図られるだけでなく、食べ物に関する知識や習慣を学ぶことができます。

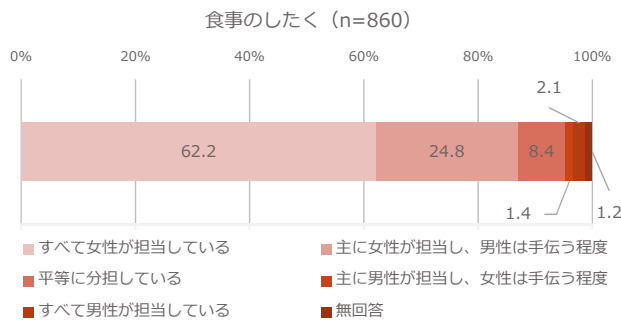
一方で、家での食事の回数が増え、その分の家事負担も増加します。市民意識調査の結果からは、家庭内の家事の役割分担について、食事のしたくは女性が担うことが多いということが分かります。

働く女性が増えている中で、男女がともにワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するためには、「男子厨房に入らず」「料理は女性の役割だから」といった役割分担意識の解消が必要です。

毎日の食事を作る楽しさや大変さを共有することは、家族とのコミュニケーションを深めることにも繋がります。

健康で豊かな生活を送るためにも、性別にかかわらず、食に関する知識を持ち、料理を楽しむ時間を持ちましょう♪

Q. 家庭内の役割分担について、あなたの家庭では、次の事柄は主に誰が担当していますか。（択一式）



出典：燕市企画財政部地域振興課「平成27年度男女共同参画に関する市民意識調査報告書」

これまで男女共同参画に関する啓発・情報提供のひとつとして、広報つばめに掲載していた男女共同参画コラムは、今回からこの「燕市男女共同参画だより・サルビアレター」のかたちでお知らせすることとなりました。サルビアは燕市の市花であり、その花言葉には燃え上がる思い、尊敬、知恵、よい家庭といった意味があるそうです。

燕市では「一人ひとりが輝くまち、燕市を目指して」を目標に掲げた「第3次燕市男女共同参画推進プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けたさまざまな取り組みを進めています。詳しくは燕市ホームページをご覧ください。▼URL

https://www.city.y.tsubame.niigata.jp/soshiki/kikaku_zaisei/2/26/index.html

